

暮らしを守る 災害に強い道づくり

佐賀国道事務所長 大榎 謙



新年明けましておめでとうございます。
皆様には、平素から国土交通行政ならびに佐賀国道事務所の事業推進に格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、昨年は元旦の能登半島地震の発生により、半島の

広範囲が甚大な被害に見舞われ、住民生活に大きな影響を与えました。そして、懸命に立ち直ろうとしていた復興最中の9月、記録的な豪雨により再び大きな被害を受けることとなりました。
石川県をはじめ、関係機関・建設業界による創造的復興に向けた取り組みが強力に進められているところであり、1日も早く被災された皆様に平穏で明るい日常が訪れますことを心から願っております。

我が国では、気候変動に伴う自然災害の激甚化・頻発化により、毎年のように深刻な被害が発生しています。このような中、災害に強い国土づくり、すなわち、道路ネットワークの強化や事前防災などを通じて国民の生命と財産を守るための取り組みが急務だと考えます。

佐賀国道事務所としても、西九州自動車道をはじめとする高規格道路ネットワークの構築、老朽化したインフラのメンテナンスや橋梁の耐震補強、電線の地中化など緊急輸送道路の防災・震災対策、そのほかにも地域経済の活性化など時代の要請に応えるべく積極的に取り組んでまいります。

今後とも、より良い地域社会の構築に努めて参りますので、皆様のご理解とご支援、ご協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様にとりまして本年が輝かしい一年となりますこと、幸多き年でありますことを祈念しまして新年の挨拶とさせていただきます。

地域の期待に応える 道路整備を目指して

有明海沿岸国道事務所長 千年 康秀



平素より国土交通行政並びに有明海沿岸道路の整備・管理について、ご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事務所では、有明海沿岸道路のうち熊本県荒尾市の荒尾道路から佐賀県佐賀市の佐賀JCTまでを所管しています。

令和4年11月に大野島IC

、諸富IC間の1・7キロが開通したことで、福岡県と佐賀県が有明海沿岸道路で繋がり、29・2キロを管理しています。

今年、昨年に引き続き荒尾道路の設計を進め、又、三池港IC連絡路及び大川佐賀道路の諸富IC（仮称）川副IC間については全面的に工事を進めてまいります。

なお、近年、福岡県南地域においては、豪雨等による浸水被害が増加し、本道路沿線自治体でも浸水被害が度々発生しております。道路高が高い本道路では浸水の影響を受けることなく、緊急車両や物資輸送車両の代替路として機

能しています。

今後、豪雨の多発が懸念される中、大規模災害時の物資輸送や復旧作業を円滑に実行するための災害時の代替路として、さらなる道路整備を推進し、地域住民の皆様の安全・安心の確保に努めてまいります。

強靱な国土づくりには、我々を含めた建設業界全体の技術力と行動力が不可欠であり、建設業の皆様には地域のインフラ整備のみならず、維持管理の担い手として、毎年のように起こる災害に対し、応急的な復旧から次の災害に備えた防災・減災対策まで、責任を持って取り組んでいた

だき本当に感謝しております。

これまでに福岡県南地域の都市間と佐賀市が自動車専用道路で繋がり、沿線地域では人流や物流が増えてきており、地域活性化の期待は大きくなっています。

今後、佐賀・熊本へと整備を進め、有明海沿岸地域が一体となり、更に発展していくように、未開通区間の早期完成に向け取り組んでまいります。

本年が皆様にとりまして、実り多い年になることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



株式会社 九電工

理事佐賀支店長 瀬戸口 英治

〒840-0804 佐賀市神野東2丁目6-26 TEL0952(33)2002

地域を照らすスイッチになります



電気工事・空調工事・防災工事・設計施工
株式会社 電興社

代表取締役社長 堤 雄亮

佐賀県佐賀市高木瀬西 6-11-4 TEL:0952-31-1811 FAX:0952-32-2623



株式会社 有明電設

代表取締役 秋山 聡

本社／佐賀市兵庫北五丁目16番11号 TEL 0952-31-8141(代表)
営業所／唐津・鳥栖・武雄



交通情報・電気通信・電気工事（設計・施工・保守）
三球電機株式会社

代表取締役社長 笠原 建樹
佐賀支店長 飯盛 英夫

本社 東京都練馬区貫井5丁目24-18 佐賀支店 佐賀市鍋島町大字八戸3174-1
☎03(3970)3911 FAX03(3577)6946 ☎0952(23)4139 FAX0952(23)6355